

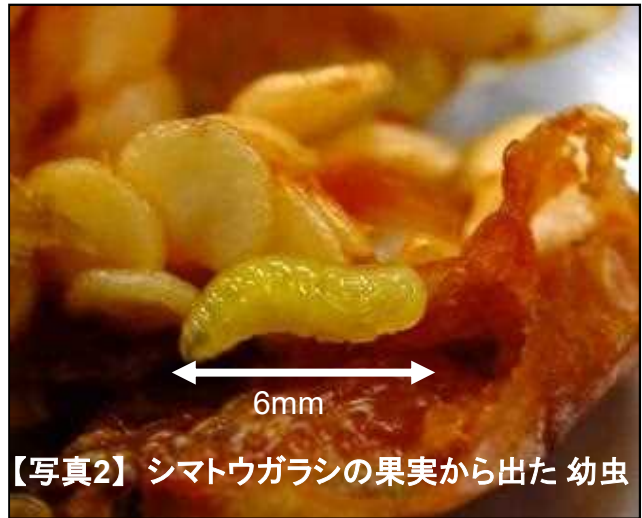
# ナスミバエのまん延防止にご協力を！

★一般家庭の庭先や 家庭菜園での被害が増えています。

- 国内では、沖縄県(北大東村を除く)と鹿児島県の一部離島だけに発生しています。
- ナス科野菜(ピーマン・シマトウガラシ・トマト・ナスなど)の実を幼虫が食害します(写真3、4、5)。



【写真1】ナスミバエの成虫(体長6mm)



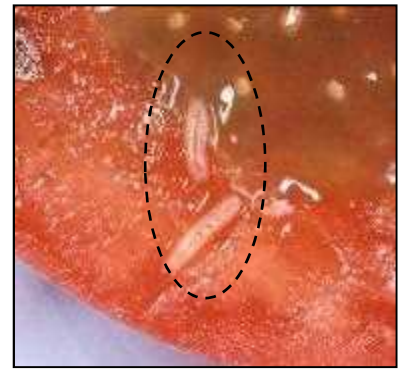
【写真2】シマトウガラシの果実から出た幼虫



【写真3】シマトウガラシの被害



【写真4】ピーマンの被害(左)



【写真5】トマトの被害  
(円内は幼虫)

※ お問い合わせは下記まで。

沖縄県 病害虫防除技術センター Tel:098-886-3880

宮古駐在 Tel:0980-73-2634 八重山駐在 Tel:0980-82-4933

沖縄県 宮古農林水産振興センター スタッフ Tel:0980-72-2552

沖縄県 八重山農林水産振興センター スタッフ Tel:0980-82-3043

沖縄県 農林水産部営農支援課 Tel:098-866-2280

# ナスミバエはどうやって防除したらいい？

## 【農家の皆様へ】

①施設（ハウス等）では、防虫ネットや  
出入り口の二重カーテン等で侵入防止



施設出入り口

②露地栽培（野外）では、防虫ネットの  
被覆や果実の袋掛け等で侵入防止



収穫前ネット展張

③作物ごとに農薬取締法を遵守した薬剤  
を散布。

（トウガラシ類にはジメトアト顆粒水溶剤（アルパリンまたはスタール）、  
周辺雑草にはスピノサト水和剤（スピノサット））



袋の口はテープで  
しっかり閉じる

④寄生の疑いのある果実や残渣は、  
ビニール袋に入れ密閉し、一ヶ月程度  
炎天下で放置後、適切に廃棄

⑤畑周辺の野生の寄主植物（テリミノイヌホオズキ  
や野良トマト等）を徹底して除去



残渣（ざんさ）を  
野ざらしにしない

⑥収穫や出荷選別時には、寄生の疑いの  
ある果実を入念に除去する。

⑦出荷までの間は、コンテナ等を覆い、  
虫との接触を防ぐ。



上面だけでなく側面も覆う



野生の寄主植物も  
除去する  
（テリミノイヌホオズキ）

# ナスミバエはどうやって防除したらいい？

【家庭菜園などされている一般の皆様へ】

- ①農薬を散布出来<sup>ひぶく</sup>ない場合は、防虫ネットの被覆や果実の袋掛け等で侵入を防止する。



残さを野ざらしにしない

- ②落ちた果実や寄生の疑いのある果実、残った果実は、野外に放置しない。ビニール袋に入れ密閉して、適切に処分する。



袋の口はテープでしっかり閉じる

- ③家や畑の周辺の野生の寄主植物（テリミノイヌホオズキや野良トマト等）を除去し、②と同様に処分する。



野生の寄主植物も除去する  
(テリミノイヌホオズキ)

沖縄県では **辛味トウガラシ類** の **生果実** の **移動自粛** をお願いしています。



寄生率が高く、まん延のリスクが高いトウガラシ類の生果実・実の付いた苗を 本土などの未発生地域へ持ち出さないで下さい。  
(冷凍品や加工品はOK)

**発生地域**

【北大東村を除く沖縄県】



**未発生地域**

【県外、北大東村】

ご理解とご協力をお願いします。